

平成30年度事業計画

1 シルバー人材センター創立40周年を迎え、新たな飛躍を

文京区は平成27年に策定した「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」において、年少人口、生産年齢人口、老年人口の年齢3区分において、老年人口の増加が続く一方で、区の総人口は2020（平成32）年以後減少に転じることから、今後は高齢化が顕著になり、また、労働力の減少による影響が大きくなる他、男性に比べて女性の生産年齢の減少率が高くなることから、男性のみならず女性も個性と能力を十分に発揮し活躍できる社会の実現が重要になるとしています。

この分析の結果を基にして、区においては「子育て支援」、「高齢者福祉」、「産業振興」、「観光・交流」など4つの視点を地方創生の柱として位置付けています。

文京区シルバー人材センターは、公益社団法人として、この区のビジョンが目標とする「高齢者福祉」、「子育て支援」の分野において、元気高齢者が活躍して、育児や介護の分野において現役世代の下支えを行い、地域社会を支援する公的な団体として、その持てる機能のすべてを発揮し、地域社会の期待に応え、事業展開を行う役割と責任があります。

平成30年度は、シルバー人材センター事業開設以来40周年を迎えた輝かしい節目となる年になります。このたび、会員の皆様と区内の企業や保育、福祉施設等にアンケート調査を実施し、今のシルバー人材センターの現状を把握・分析し、今後のシルバー人材センターの進むべき方向性を明らかにして、40周年記念誌等の発行において会員の皆様にご報告することにしていきます。

この報告に基づき、今後のシルバー人材センターが、時代の変化に的確に対応し、区における高齢化社会を支える中核的な存在になるためには何を今後行うべきか、十分な検討を行った上で実行に移していく必要があります。

そのためには、会員の皆様のご協力と実践が欠かせません。

このことから、平成30年度におけるシルバー人材センターの重点的に推進すべき重要課題は、「会員の拡充」、「高齢者派遣事業の実施準備」、「家事援助サービスにおける事業拡大」、「就業分野の拡大・拡充」、「女性会員の活躍」、「区より受託された事業の確実な実施」等が主な柱になります。

特に、「高齢者派遣事業」においては平成31年度当初から実施することにしており、平成30年度末までに、その開始に向けた準備を必ず行わなくてはなりません。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の実施を間近に控え、都や区においては様々な取り組みを進めています。それらの様々な取り組みと連携協力

しながら、ボランティア活動を含めた事業展開を行う必要があります。

会員の皆様を取り巻く環境は、大きく変化しています。会員の皆様の知識や技術の付与や増強を行い、日頃より安全就業の推進を進めながら、一つ一つの事業に創意工夫を加えながら、効果的で効率性の高いものへ導くことを最大の目標として、平成30年度予算を編成いたします。

2 平成30年度基本方針と主な事業目標

次のとおり、(1)基本方針(2)主な事業目標(3)事業実施計画を策定し、関係機関等の協力を得ながら、会員の総力を挙げて事業を実施します。

(1) 基本方針

①就業機会の拡大・開拓の推進

区民の皆様や区内企業等にセンター事業を知っていただく他、区の協力を得ながら、就業機会の開拓・提供を行います。

(主な事業)

- ⑨・平成31年度から「高齢者派遣事業」を実施します。
(平成30年度は、事務所登録、派遣事業先の開拓、会員への周知、研修、事務所内実施準備等を行います。)
- ⑩・「介護施設お助け隊」、「介護予防・日常生活支援総合事業」の継続実施。
- ⑪・「家事援助サービス」事業の拡充。

②会員の増強・拡大

減少傾向にあった会員数は、会員の皆様や役職員の努力が実り、増加傾向に転じました。今後も、様々な就業分野において活躍できる人材に参加していただける、具体的な取り組みを積極的に進めます。

(主な事業)

- ⑥・「会員1名がプラスアルファ・会員1名獲得」キャンペーン事業を継続実施。地区班長会、グループリーダー・サブリーダー会等において、継続して実施を呼びかけます。
- ⑦・女性委員会委員及び役職員により、「ボランティア活動」の実施に合わせPR活動を行います。
- ⑧・センター創設40周年を祝賀する記念誌の発行及び総会時に記念式典を実施します。平成29年度に会員及び区内企業、介護施設、保育園等を対象に実施したアンケート調査等を活用します。

③安全の徹底と健康管理

会員の健康と安全の確保は、シルバー人材センターの事業推進における重要課題であり、平成27年度に「安全はすべてに優先する」という安全宣言を制定いたしました。

今年度も、安全管理委員会・安全支援員を主体に、安全管理体制の充実、事故防止措置の具体的な取組、会員の健康管理の取組、安全管理教育の推進、安全意識の普及啓発を会員一人ひとりに促しながら、会員の皆様が安心して働ける環境づくりに努めます。

④会員の自主・自律的な組織活動の推進

ここ数年、地区・地域班ごとに各種の会員主体の地域班活動が活性化しています。特色のある交流会の開催による会員相互の親睦を図り、結束を強めることによりセンター組織及び事業の基盤強化に繋がります。

また、仕事別グループにおいても、同様な組織活動を展開し、共働・共助の精神に基づいた事業展開を進め、新たな就業分野の積極的な開拓に繋がるよう努めます。

(主な事業)

- ⑨・4地区合同による新年会等の実施。
- ⑩・サークル活動や女性会員を主体とした趣味の会等の開催による、地区地域及びグループ活動の活性化。

⑤会員の資質・接遇力の向上

各種会議、講習会、事業、会報など、あらゆる機会をとらえて、会員の意識を高め、地域社会や各職場で働くのに相応しい人材づくりに努め、コミュニケーションスキルアップや接遇研修に力を入れます。

(主な事業)

⑥・継続就業新規会員等への接遇研修の実施。

⑥適正就業への取組

適正就業ガイドラインに基づく自主点検や、平成 29 年度「東京しごと財団」及び東京労働局の定期調査の指導を踏まえ、就業現場の確認、請負契約内容の確認や仕様書等の整備等、適正就業の取組体制を強化します。

また、発注者にも適正就業の趣旨を説明し、センター事業の原則である「請負・委任」契約に基づく適正な請負が成立するよう努めます。

⑦ボランティア活動の推進

ボランティア活動はセンターの重要な業務の一つであり、公益社団法人としてのセンターの存在を広く知っていただくため、都、区及び関係団体などと連携し社会奉仕活動を推進します。

(主な事業)

⑧・女性委員会委員及び役職員により「ボランティア活動」の実施に合わせた、PR 活動を行います。

※⑧ ④の事業と共通していることから再掲としました。

⑧事務局体制の強化

事務局は会員の皆様の意見・要望を的確に把握し、常に会員の健康及び福祉の増進に努めます。

また、組織が現実の変化に対応できるよう、組織変革のため職員等の意識改革に努めます。

(主な事業)

⑨・家事援助サービスを強化するため、財団補助金を活用し、2名の職員を直接雇用します。

(2) 主な事業目標

区 分	平成30年度目標	平成29年度実績見込	平成28年度実績
年度末の正会員数	1,100人	1,038人	1,007人
就業実人員	869人	807人	792人
会員の就業率	79%	77.8%	78.6%
就業延日人員	84,000人日	83,582人日	82,974人日
受託契約件数	6,800件	6,667件	6,538件
受託契約金額	3億5,000万円	3億4,723万円	3億4,235万円
配分金額	3億2,500万円	3億2,227万円	3億1,698万円

(3) 平成30年度事業実施計画

(1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員募集説明会	平日2回	事務局窓口 平日午前10時・午後2時
「公益シルバーぶんきょう」の発行	年3回	6月、9月、1月頃に発行し全会員配布
「区報ぶんきょう」に掲載	年3回程度	センター周知記事掲載
リーフレットの配布	随時	役職員、会員が区施設、各種イベント等で配布
ポスターの掲出	随時	区施設等に掲出
インターネットホームページによる情報提供	随時	http://www.bunkvo-sc.or.jp
都営バス・文京区コミュニティバスの車内アナウンス	通年	シビックセンター前を運行するバス4路線 B-ぐる2路線
募集広告	年3回	高齢者の加入促進・就業機会拡大のためのPR
会員募集説明会	随時	高齢者施設就業前講座・文京区町会等高齢者の加入促進PR
創立40周年記念	年1回	創立40周年記念誌発行
PR活動	年2回	「文京区防災フェスタ」加入促進・就業機会拡大のためのPR

(2) 高齢者の就業に関する調査研究

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員現況調査	年1回	未就業会員意向現況調査実施
就業会員実態調査	年1回	就業会員実態調査実施
労働者派遣事業	随時	シルバー派遣事業所開設、会員研修、就業開拓
定期健康診査受診と報告	年1回	全会員
センター事業の調査研究	随時	理事会、総務事業委員会、安全管理委員会等

(3) 高齢者の就業に関する相談

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
入会希望者相談	入会申込時	事務局窓口
高齢者の仕事相談	随時	事務局窓口
未就業者相談会	年1回	役職員
就業相談	年1回	役職員(就業上のトラブルや悩みの相談)

(4) 希望と能力等に応じた就業機会の開拓及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
継続就業希望及び職種変更相談	年1回	継続希望会員
継続就業調整会議	1月	担当役職員による継続就業職種への配置調整
福祉・家事援助サービスの推進	年3回	女性委員会を中心に福祉・家事援助サービス事業担当会員交流会を開催し、情報の共有化及び課題解決に向けた協議
深耕開拓（既存契約の掘り下げ）	随時	会員、職員

(5) 講習会、研修の実施及び参加

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
新入会員研修	年4回程度	新入会員
役員研修	年1回以上	理事及び監事
職員研修（しごと財団研修）	年1回以上	事務局職員
就業支援講習（しごと財団研修）	3コース程度	植木剪定、DIY等
交通安全講習会	年1回	交通指導グループ会員
接遇・技能等自主研修会	年1回以上	各仕事別グループ内でリーダー・サブリーダー等が中心となり、接遇及び技能等の向上を図る。
安全管理等講習会	随時	AED等講習会等
その他の講習会、研修会	随時	役員、会員、事務局職員等

(6) その他の事業

① 会員の自主・自立的な組織活動

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
定時総会	年1回	法令、定款等に基づく事項の決議
創立40周年記念	年1回	創立40周年記念式典
理事会	年12回	センターの業務執行の決定等
会計監査	年4回	監事
総務事業委員会	年10回程度	理事会議題調整等
女性委員会	年5回	女性会員の能力、特性等の活用による就業検討等
安全管理委員会	年3回	安全対策実施計画の策定及び推進
班長会	年3回	4地区34地域
地区全体会	年1回以上	4地区で開催
地区理事・代表班長・班長との連絡会	年1回以上	4地区で開催
仕事別グループリーダー・サブリーダー会	年2回	学校受付管理、児童館等12グループ
仕事別グループ全体会	年1回以上	学校受付管理、児童館等12グループ
仕事別グループ担当理事・リーダー・サブリーダーとの連絡会	年1回以上	12グループで開催
その他の会議	随時	

② 自主的組織活動への助成

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
地区地域班、仕事別グループ助成	随時	会場使用料、会議費、通信費等の助成
班長、リーダー等への活動補助	随時	代表班長・班長、リーダー・サブリーダー
みまもり訪問事業ボランティア	年間	社会福祉協議会事業が実施する75歳以上の高齢者への定期訪問等見守りに協力する。
東京大マラソン祭り2019	年1回	東京都が実施するマラソン事業に協力する。

③ その他

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
シルバーお助け隊（区補助事業）	年間	70歳以上の高齢者のみ世帯、障害者のみ世帯
買い物支援おたがいさまサービス事業（区補助事業）	年間	介護予防・生活支援サービス事業対象者
介護施設お助け隊事業	年間	福祉施設作業補助
他団体との協力	年間	文京区役所、文京区町会連合会、文京区高齢者クラブ連合会、（公社）全国シルバー人材センター事業協会、（公財）東京しごと財団、第二ブロックシルバー人材センター、ハローワーク、（社福）文京区社会福祉協議会等
事務局体制の整備	年間	就業専門員の活用、公認会計士による内部統治（ガバナンス）